資料Ｂ

埋　立　状　況

（愛岐処分場の残余容量と埋立実績）

1　残余容量

（令和元年度当初）

区　　分	実　　績
全　体　容　量	約 444 万㎥
残　余　容　量	約 41 万 9 千㎥ （約 64 万ｔ）
平成 30 年度埋立容量	約 2 万㎥ （埋立実績　22,220ｔ）
埋　立　期　間	昭和 57 年度から埋立終了まで

2　埋立実績

（単位：ｔ）

区　　分	平成 30 年度
焼　却　灰　等	18,698
主　　灰	10,134
飛　　灰	8,481
溶　融　飛　灰	83
破砕後の不燃物等	2,452
破　砕　不　燃　物	397
市収集・自己搬入	2,055
多治見市埋立分	1,070
合　　計	22,220

（注）飛灰は安定化処理したものです。

埋立量の推移

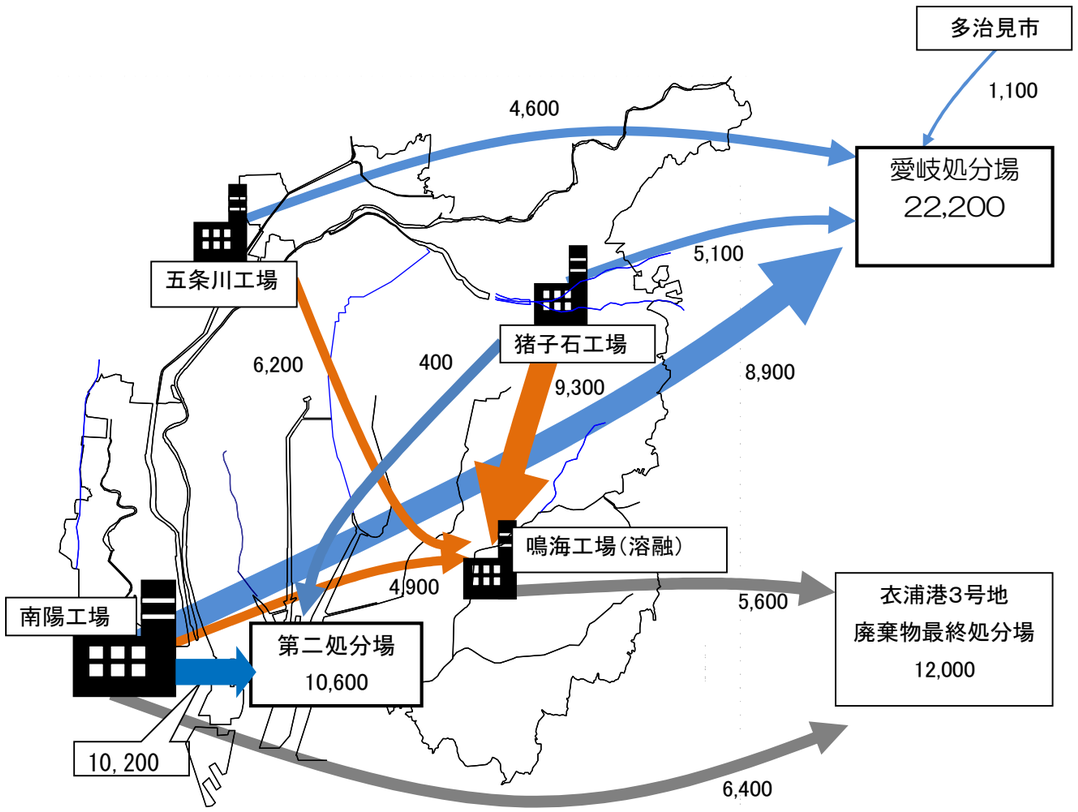
（単位：ｔ）

年度	愛岐処分場	第二処分場	衣浦港３号地廃棄物最終処分場	計
26	40,505	―	11,798	52,303
27	26,565	11,719	11,966	50,250
28	30,420	11,430	11,990	53,840
29	27,467	11,693	12,896	52,056
30	22,220	10,536	11,988	44,744

（注）数字の単位未満は四捨五入を原則としたので、計と内訳の合計が一致しない場合があります。

平成 30 年度　埋立実績フロー図（工場⇒処分場）

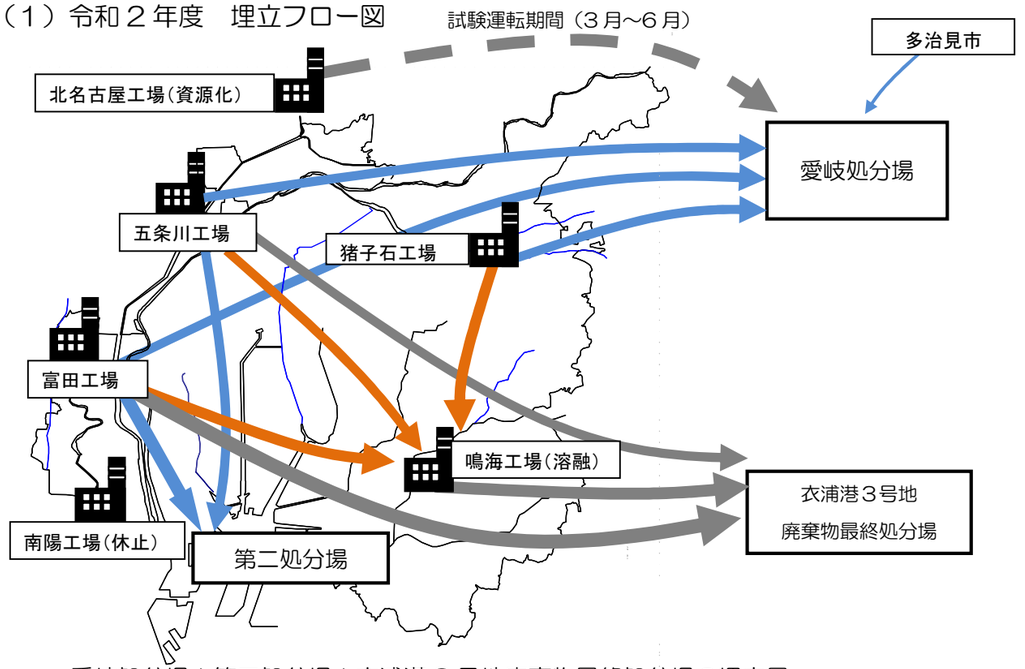
（100 トン／年　以上について記載）
単位：トン



注）→　焼却灰の溶融処理

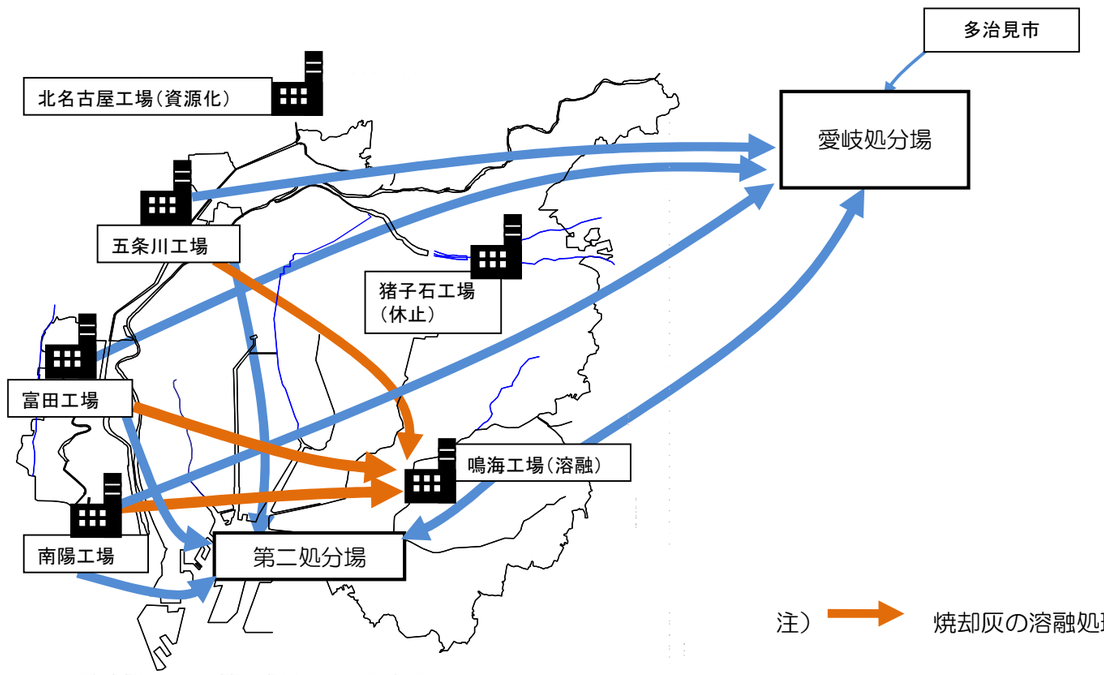
今後の埋立イメージ図（工場⇒処分場）

（１）令和２年度　埋立フロー図



愛岐処分場＋第二処分場＋衣浦港３号地廃棄物最終処分場の埋立量
（第５次一般廃棄物処理基本計画）：２万トン

（２）令和 10 年度　埋立フロー図



注）→　焼却灰の溶融処理

愛岐処分場＋第二処分場の埋立量
（第５次一般廃棄物処理基本計画）：1.5 万トン